

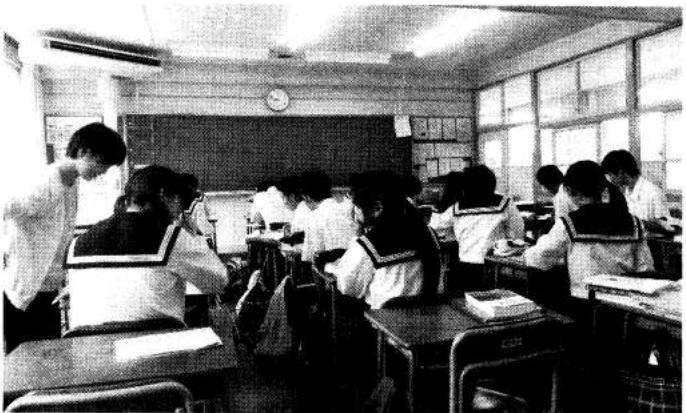
一宮西高

同窓会報

第29号

2014年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp



「英語の授業は英語で行う」
西高の新しい英語教育（詳細は最終ページでご紹介しています）

新緑がまばゆく萌える初夏、同窓会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。私は、平成24年度に同窓会役員に選任されました7回生の金森智博でございます。たくさんの活躍されておられる先輩諸兄に於かれましては僭越ですが、縁あって指名を受けたという事で、お許しを頂ければ幸いです。

さて学校では、昨年度、創立50周年を迎えて「記念式典」を一宮市民会館に於きました。関係各位に感謝申し上げます。また同窓会では、周知の通り年一回ですが、8

一宮西高校創立五十周年記念式典の御礼

同窓会監査 金森 智博



月に本会「同窓会総会・学年同窓会」を開催しております。まだ若き同窓生の皆様、また人生に一段落を終えた同窓生の皆様、今までおられる先輩諸兄に於かれましては僭越ですが、縁あって指名を受けたという事で、お許しを頂ければ幸いです。

また、式典の後に行われた、記念講演も大変好評をいただきました。講師は、東京大学大学院薬学系研究科准教授の池谷裕二先生でした。題目は、「脳を知つて脳を活かす」と言うことで、生徒には

平成25年10月31日（木）に、一宮市民会館で行われた記念式典は、愛知県教育委員会委員長・豊島半七様、一宮市長・谷一夫様はじめ、多くのご来賓の方々や高等学校関係者の方々をお招きして、盛大に行われました。ごく一部ですが、写真で雰囲気を感じいただければ幸いです。

同窓会事務局

せんか。
最後に今後共ご指導ご鞭撻をお願い申し上げ挨拶とさせて頂きます。

感謝

文系・理系を問わず、「人間の本質的な『脳』の働きをわかりやすく理解できた。」との声が多く聞かれました。講演の後、生徒から多くの質問が出て、彼らの好奇心を十分に満足させていただけたと、感謝しております。昔から脈々と続く「知的な西高生」の姿が感じられた瞬間でした。

この記念式典のために、多くの方々のご支援をいただきました。この機会を今後の同窓生のために繋げられるように、同窓会事務局も、努力します。ありがとうございました。



修学旅行・秋吉台



修学旅行・たのしい！

平成26年度 同窓会総会のお知らせ (全日制第9回生・第29回生学年同窓会 同時開催)

日 時 8月2日（土）午後5時より
場 所 尾張一宮駅前ビル（i-ビル）
会 費 5,000円（学生は3,000円）

※出欠は同封のハガキ、または
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp でお知らせください。その他のお便りも E-mail でどうぞ。
※来年度は、第10回生・第30回生（昭和51年卒・平成8年卒）の学年同窓会を計画しております。
※西高ホームページ
<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>
も参考にして下さい。
HPの中にも、同窓会の E-mail アドレスが記されています。

一宮西高等学校は平成25年度に創立50周年を迎えました。

皆様のご支援・ご協力ありがとうございました。

「誇り・自信・夢 一西高半世紀の伝統と挑戦を胸にー」

昨年度の総会報告

平成二十五年度の総会は、昨年八月三日（土）午後五時より、尾張一宮駅前ビル七階シンビックホールで行われました。

用していただけたら幸いです。
今年度の総会に、是非皆様も
誘い合わせの上、気軽に参加し
ていただきますようお願い申し
上げます。

東京支部会の報告

24
回生

八回生・二十八回生を中心として、総勢百四名の方々に参加していただきました。ご多忙にありがとうございました。ごかかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方にもご出席いただきました。

事業報告・会計報告、役員改選、平成二十五年度の事業計画・予算案の審議と、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていたただいたように、同窓会費及び同窓会報郵送料カンパでは多くの方にご協力いただき、重ねてお申し上げます。

した八回生・二十八回生に新会員の四十七回生を加え、若々しい雰囲気の中で盛り上がりました。各テーブルでは、昔話に花が咲き、時が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌齊唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

前、同窓会幹事が抱える西高の校章が目印です。同窓生は、校章を見た瞬間から懐かしい記憶が蘇つたこと思います。(ご多忙にも関わらずお越し頂いた鈴木校長先生、丹下先生、平澤先生をお迎えし、新宿高層ビル街にある一次会会場に移動しました。一次会は鈴木校長先生のご挨拶で始まり、先生方から現在の西高の様子や熱い思いを伺いながら、参加者全員で順番に自己紹介や近況報告を行い、本当にあつという間の3時間でした。その後、巨大なクリスマスツリーの前で記念撮影を行つた後、夜景の綺麗な49階の二次会会場に移動し、後から合流した同窓生も交えて掘りごたつで鍋を囲みながら引き続き盛り上がらりました。

2013年度の一宮西高校同窓会東京支部会を昨年12月7日(土)に新宿で開催しました。今回の同窓会では一人でも多くの方に出席して頂けるように、例年夕方から開始していた会を昼の時間帯に変更し、同窓生18名と先生3名を含ませた21名に出席して頂き、例年通り和気藹々としたとても楽しい会になりました。

(1967年卒業)から第46回生(2012年卒業)までの非常に幅広い世代の同窓生が集まり、まさに世代を超えて親睦を深めることができました。卒業後の進路も現在の状況も千差万別ですが、みんな笑顔で生き生きとしていたのが非常に印象的で、これも西高での高校生活が誰もが充実して思い出深いものだつたからだと思います。

教諭 松井 祐一
一宮西高校に保健体育科の教員として14年間勤務しました。その間、校務分掌は生徒会、部活動は陸上部を担当しました。
生徒会ではおもに運動関係の行事を担当しました。

Facebookなども活用して一人でも多くの同窓生で集まりたいと思いますので、皆様のご参加をお待ちしています。特に関東在住で同窓会に参加されたことがない方や、進学や転勤・結婚などで関東に来られた方などがいらっしゃれば、是非お気軽にご参加くださいますようお願い申し上げます。

本同窓会のよう、高校の同窓会が支部会として地元以外で毎年継続して実施されているという話はあまり聞いたことがありません。全く形式張らない和やかな会ですが、これも一宮西高校の伝統の1つとして今後も継続し、同窓生の絆を深めていければと思っています。2014年度の同窓会も1月中旬～2月中旬の開催を予定

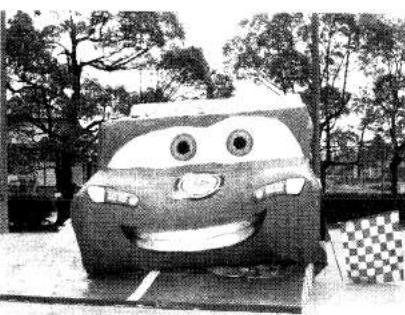
体育祭では、当日、晴天の天気予報にもかかわらず開始直後に土砂降りの豪雨に見舞われて、続行不可能になりました。マスクは雨で紙の部分がかなり破損して、完全に修復する時間がなく、紙がはがれた状態で体育祭を行いました。

がこつこつと練習を積み重ねて自己記録を更新してゆき、みんなでから東海大会、全国大会へ勝ち進んで表彰台に登るもの。今思うと指導者として本当に充実した時間を過ごすことができました。

一宮西高校でかかわったすべての先生、生徒、事務や用務員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも西高の活躍を応援しています。



iwh-tokyo-reunion@googlegroups.com



でマスクコットが無残に大破したこともあります。このときはマスクコット担当以外の生徒や、群団を超えての協力でわずか2日でほぼ元通りに修復し体育祭を行うことができました。そのときは大変な思いをしましたが、いずれも印象深い体育祭です。球技大会では勝

体育祭では、当日、晴天の天気予報にもかかわらず開始直後から土砂降りの豪雨に見舞われて、続行不可能になりました。マスクは雨で紙の部分がかなり破損して、完全に修復する時間がなく、紙がはがれた状態で体育祭を行いました。

総合優勝を勝ちとる喜び、そのなかから東海大会、全国大会へ勝ち進んで表彰台に登るもの。今思うと指導者として本当に充実した時間を過ごすことができました。

一宮西高校でかかわったすべての先生、生徒、事務や用務員の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも西高の活躍を応援しています。



私の宝物

望月 明

この度の人事異動で、一宮工業高校に転勤になりました。十一年間、大変にお世話になりました。一宮西高校は、生徒にとって夢をかなえる学校であり、私にとっては夢のような学校がありました。授業が終わると、すぐに質問をして来る生徒があり、勉強に対する熱意を感じら、教えることに喜びを感じる日々でした。部活動や学校行事でも、生徒の皆さんのが先生方と信頼関係で結ばれ、何事にも一生懸命に取り組む姿に驚きました。

進路希望を実現するという目標と、日々の学校生活を楽しく充実して過ごすという願望を、二つ同時にかなえるのは大変に困難なことです。一宮西高校は、それを可能にしている希有な学

校であるといえます。そして、それを可能にしているのは、先生方と生徒の皆さんのが「高い志」だと思います。数多くの一宮西高校での思い出から、最も深く心に残った「志」についての話を書きたいと思います。

赴任して四年目、初めて三年生の担任をした時のことです。九月の学校祭で、クラスは大活躍をして、さまざまな賞をもらい、生徒同士の仲も大変良くなりました。ところが、学校祭の思い出に浸り、いつまでたっても気持ちは受験に切り替わっていかないのです。私は担任としての焦りがあるため、「だれのために勉強しているんだ。自分のためだ。」と声を荒げてしましました。叱りつけた後で、自分の焦る気持ちを、生徒に投げつけてしまったという苦い気持ちがこみ上げてきました。

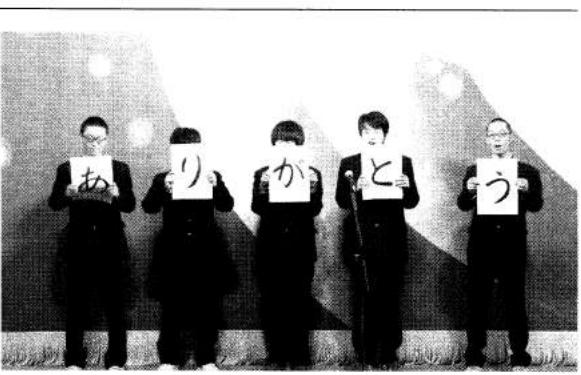
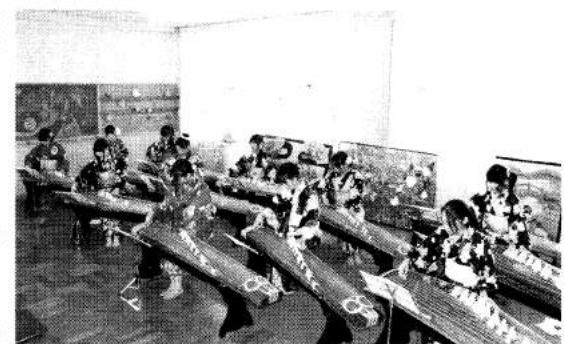
不機嫌な顔をして教室を出る



と、一人の女子生徒が追いかけてきました。彼女はニコニコとしながら「先生。わたしは、これから未来に出会うはずの、誰かのために勉強しています。世の中には、人の助けがなくては生きていけない人が大勢います。わたしはそんな人を助けたい。だから、わたしは『わたしの助けを待っている誰か』のために勉強しているんです。このことが言いたくて」と言つて、真つ直ぐに私の目を見つめています。私は、彼女に返す言葉がありませんでした。彼女は「丈夫ですよ。皆、わかっているから」と言うと教室に戻つて行きました。彼女は私の焦る気持ちも見抜いていたのです。この生徒は、私よりもずっと高いところから人生を見ている。いつの間にかこんなに成長していたんだと思うと胸が熱くなりました。生徒から「教えられる」というのは、教師冥利に尽きます。このように素晴らしい生徒との出会いがたくさんありました。

助けているつもりが、助ける。与えるつもりが、与えられる。いる。こういった人間関係が西高の魅力ではないでしょうか。それを支えているものが「高い志」と品格だと思うのです。

一宮西高校での生活は、私の宝物です。夢のような年月を与えてくださった諸先生方と生徒諸君に厚くお礼申しあげます。素晴らしい西高と同窓会のますますのご発展をお祈り申し上げます。



昨年度の同窓会活動報告

一、同窓会総会の開催

平成二十五年八月三日（土）尾

張一宮駅前ビル七階シビックホールで開催。旧・現職員、一般会員合わせて百四名ほどの参加をいただきました。

二、「同窓会会報」第二十八号の発行

平成二十五年七月七日に発行いたしました。

三、同窓会郵送料カンパの実施

今年度も別記のとおり実施いたしましたので、ご協力よろしくお願ひいたします。

四、東京支部会の開催

平成二十五年十二月七日（土）新宿にて開催。西高側からは、鈴木校長、平澤先生、同窓会でもある丹下先生が出席され、合わせて二十名ほどの参加がありました。

五、同窓会入会式および卒業記念品贈呈式

平成二十六年二月二十八日（金）に実施されました。第四十八回生三百十七名が同窓会に入会し、一般会員総数は一七、七二十四名になりました。また、卒業生には、卒業記念品として、証書筒を贈呈しました。

た。ご協力ありがとうございました。今年度も、年会費二千円とは別に、一口千円を協力金としてお願いしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願ひいたします。

